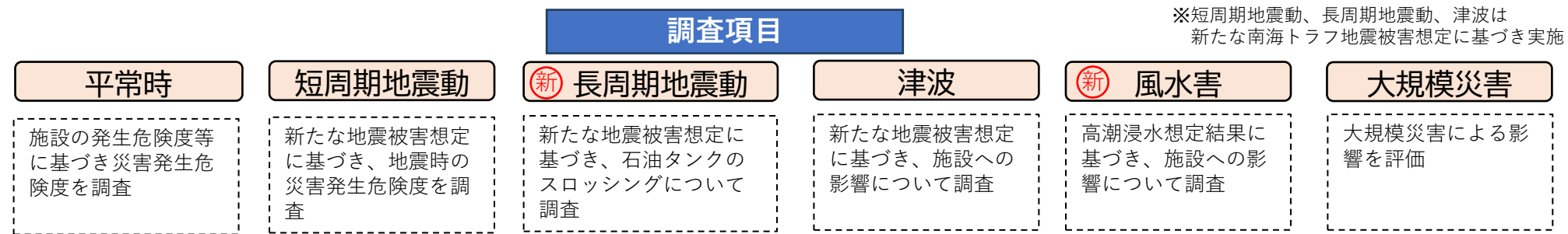


1 目的

- 三重県では、平成25年度に実施した石油コンビナート防災アセスメント調査をふまえ、三重県石油コンビナート等防災計画を策定し、防災対策を推進
- 平成25年度の調査から10年余が経過したことから、この間のコンビナート事故などの事例や国の南海トラフ地震被害想定（令和7年3月31日）、県の新たな南海トラフ地震被害想定をふまえ、石油コンビナート防災アセスメント調査を実施
- 石油コンビナート防災アセスメント調査結果をふまえ、三重県石油コンビナート等防災計画を改訂

2 石油コンビナート防災アセスメント調査の概要

- 石油コンビナートにおいて発生する可能性のある災害の想定をできるだけ客観的かつ現実的なものとするため、「石油コンビナートの防災アセスメント指針（平成25年3月消防庁特殊災害室）」に基づき実施



3 技術検討会の設置

- 調査を実施するにあたり、コンビナートに特有の災害について専門的見地からの指導及び助言いただくため、学識経験者、関係行政機関、事業者で構成する「三重県石油コンビナート防災アセスメント調査技術検討会」を設置（令和7年7月）

氏名	所属等
小川 輝繁（座長）	横浜国立大学 名誉教授
座間 信作	横浜国立大学総合学術高等研究院次世代工学システムの安全科学研究ユニット 客員教授
鈴木 泰之	三重大学 名誉教授
松田 厚司	四日市市消防本部予防保安課 課長
先川 宣	海上保安庁四日市海上保安部警備救難課 課長
内山 義孝	四日市コンビナート地域防災協議会
中条 孝之	三重県防災対策部 コンビナート防災監

(5) 石油コンビナート防災アセスメント調査について

4 これまでの取組状況（令和6年度～7年度）

<令和6年度>

- コンビナート事業所に対するコンビナート施設の現況調査の実施
- 気象データやコンビナート事故事例などの災害想定に必要な情報の収集など

<令和7年度>

- 学識経験者、関係行政機関、関係団体で構成する**石油コンビナート防災アセスメント調査技術検討会**を設置し、別途検討が進められている南海トラフ地震の被害想定の見直し（震源モデルや地震動予測など）結果や近年のコンビナート事故などの事例をふまえた災害想定の見直しを実施

【石油コンビナート防災アセスメント調査技術検討会の開催状況】

第1回 令和7年 7月 4日（金）

防災アセスメントの調査内容、基本概念及び評価対象施設、評価方法について検討

第2回 令和7年12月26日（金）

調査項目毎の評価について検討

第3回 令和8年 2月16日（月）

調査項目毎の評価、防災対策の基本的事項、報告書案について検討

5 今後の予定

- 令和8年3月30日に開催する三重県南海トラフ地震対策強化推進本部において調査結果を公表
- あわせて、県HPにおいて調査結果を掲載
- 石油コンビナート防災アセスメント調査結果をふまえ、三重県石油コンビナート等防災計画の見直しに反映するとともに、コンビナート施設の防災対策の検討に活用できるよう、防災関係機関及び事業者へ情報提供
- 今回の検討で新たに得られた想定される災害事象に対しても的確に対応できるよう、コンビナート事業所や防災関係機関などと連携し、コンビナートの防災対策を強化



▲ 四日市コンビナートの様子